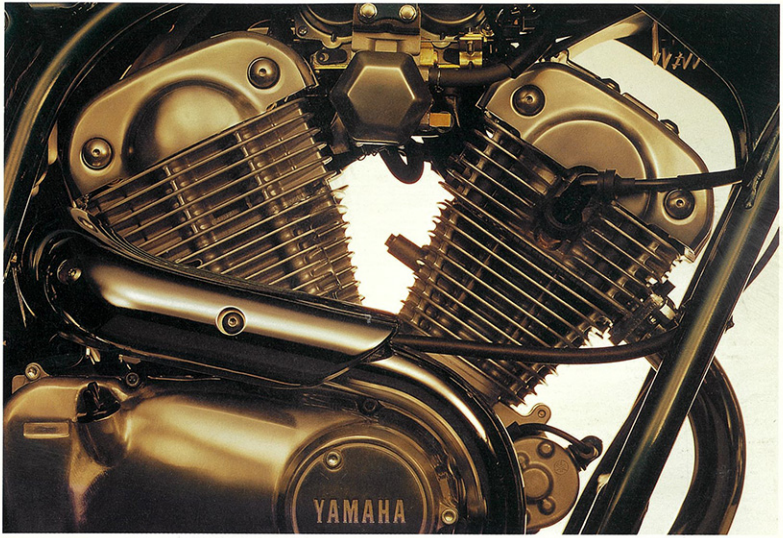
YAMAHA

SRV250

TRADITIONAL V-TWIN





モーターサイクルを愛する人々に捧ぐ。

オートバイはエンブレムで走るものではないのだが、時として私たちは、音叉マークを付けたオートバイを創りたくなる。
そうなるとこのエンブレムの不文律は、骨の髄までバイクなバイクを創れ、と誘う。
トラディショナルVツイン、SRV250。シングルとも、マルチとも、パラレルツインとも違うVツインスポーツの走り。
手の込んだ手法でていねいにまとめ上げたスタイリング。金属の輝きとペイントワークが生みだすトラッドなたたずまい。
自分たちが走らせてみたいと思うオートバイを、それこそカスタムメイドする気持ちで創ってみた。
色褪せることないモーターサイクルの正統を目指すSRV250。Vの鼓動は、時を超えて響き続ける。

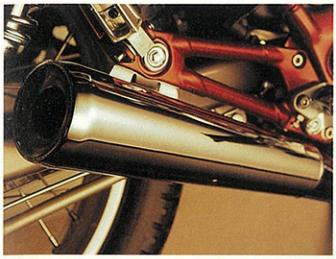


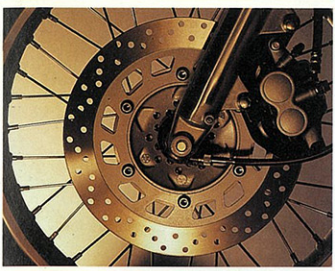
TRADITIONAL V-TWIN

SRV250



そのたたずまいがVツインの美学を語る。







走り込ませるVツイン……空冷V型2気筒250cc

SRV250に搭載されるエンジンは、挟角60°の空冷V型2気筒・OHC・2バルブエンジン。ビラーゴ250のエンジンをベースにダウンドラフトタイプのツインキャブ、大容量の吸・排気系システムを与えモディファイされたものだ。ロングストロークVツインならではの中低回転域のトルクフルな走りに加え、高回転域での軽快なレスポンスを獲得している。そのスペックは、最高出力27ps/8,500rpm、最大トルク2.5kg-m/6,500rpm。5,000rpmを超えたあたりからみせるシャープな吹け上がりとパワー感は、表示馬力を忘れさせるほどの走りを実現した。また60°Vのエンジン挟角は、車体のコンパクト化を可能にするばかりでなく、エンジンの1次慣性力が125cc単気筒なみになるために、低振動化の面でも大きなメリットとなっている。

振動抑えて鼓動を残す……低振動化設計

エンジンマウントは、振動の除去について追求されたヤマハ独自のオーソゴナルマウント方式。そのシステムはラバーブッシュでフロント1点、リア1点を支持し、加えてリア側に前後方向の動きを抑制するストッパーを設けたものだ。慣性力の少ない60°Vツインの特性と相まって、高回転域で発生する不快な振動を徹底的に除去。さらに各部の造り込みによって、ハンドル、シート、フットレストなどの体感振動を大幅に低減した。

自然な荷重コントロール……ライディングポジション

ハンドルには、ハンドル幅668mmのパイプハンドルを採用し、軽い前傾姿勢が無理なくとれるライディングポジションを実現。シート、フットレストのポジションとともに自然な荷重コントロールができるように設定されている。また、Vツインならではのスリムな車体と35°のハンドル切れ角などにより、取り回しも軽快だ。

面でバンクする……フレーム/サスペンション

シャーシー剛性、サスペンション、ディメンジョンともに、自然なマシン入力による高運動性能を目指した。フレームは、φ31.8mmの大径丸型高張力鋼管による高剛性ダブルクレードルフレームを。リアアームには長円の断面形状をもつ高張力鋼管製高剛性リアアームを採用。サスペンションは、フロントには高剛性なφ38mmの大径インナーチューブを。リアには複筒式ダンパーと2段コイルスプリングを用いたイニシャル調整機構付のコンペンショナルタイプが採用されている。セッティングは前後ともに、スポーツ性を重視。やや高めにセッティングされた重心高はマスの集中化と相まって、リーンウイズによる「面でバンクする」感覚の爽快なコーナリングを実現した。

しっとりとした乗り味……18インチホイール

フロント/リアともに18インチホイールを採用。タイヤサイズはフロントが90/90-18 51S、リアは110/90-18 61Sが装着される。また、ホイールにはアルミリムとアルミ合金製ハブを用いたスポークホイールを採用。足回りをオーセンティックに美しく装うとともに、キャストホイールとはまたひと味違うしなやかな乗り味をもたらしている。また、このスポークホイールはバネ下重量の低減及びジャイロ効果低減にも貢献。コーナーの切り返しやライン修正はよりスムーズとなり、爽快なコーナーリングワークを実現させている。

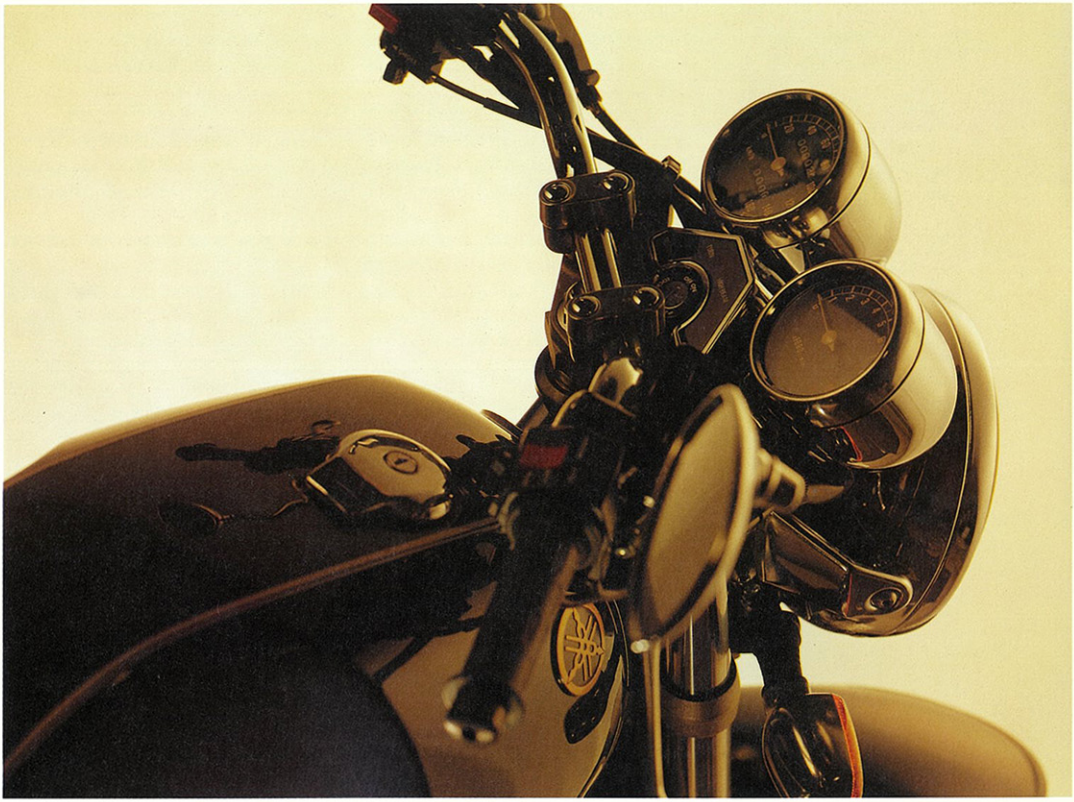
ブレーキで走る……異径2ポットフローティングキャリパー

フロントにはφ282mm大径ディスクと異径2ポットフローティングキャリパーのブレーキシステムを採用。強力なストッピングパワーを発揮するとともにデリケートなブレーキコントロールを可能にしている。リアにはノンアスベストライニングを用いたドラムブレーキが採用されている。



TRADITIONAL V-TWIN

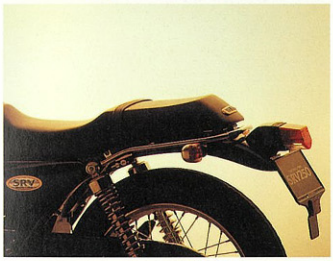
SRV250



Vツインが新しいスポーツライディングの世界を開く。







ハンドメイドの味……SRVの造り込み

モーターサイクルとは不思議なもので、どんなにメカニズムが進化しようとも、いまだ磨き込まれた金属の質感やエレメンタリズムにこだわり続けている。もちろん機能部品がむき出しになっているという構造上の面もあるのだけれども、造り手もライダーもどうしてもそこが気になってしまう。大袈裟にいえば、それはモーターサイクルだけが持つ普遍的な様式美なのだと思う。しかし、金属の研磨ひとつとっても、より高いクオリティを求めれば生産上ではとても非効率的な側面となる。だが、ヤマハはあえてそれらの問題点を克服し可能なかぎり手をかけてみた。すべては末永くつき合うことのできるモーターサイクルを手渡すために。

金属の質感……アルミ&クロームメッキパーツ

バフ仕上のフロントフォークアウターチューブをはじめ、クロームメッキのハンドル、ミラー、ヘッドライト、メーターまわり。アルミ鋳造のフットレストやアルミダイキャストのウインカーボディ、アルミリムなど贅沢なパーツをふんだんに採用。特に、メッキに関してはより深い輝きを得るために、通常よりもメッキを厚くしている。また、ウインカーボディは、アルミ素地を研磨してからクリア塗装を施すなど、実にきめ細かな仕上げが行なわれている。さらに、外観ボルトの多くを耐食性に優れ美しい光沢をもつステンコートボルトとしている。

使い込むほど味が出る…エンジン外観仕上げ

空冷エンジンの表情はどこか柔和だ。パワーユニットと言い換えるより、やはりこれはエンジンと呼びたい。シリンダーボディに整然と刻まれた冷却フィン、バフ仕上を施されたシリンダーヘッドカバーとクランクケースカバー。そこをうねるように配されたクロームメッキのエキゾーストパイプ。250ccながらも、Vツインのエンジンボリュームが堂々とした車格を与えている。

SRVの音……エキゾーストノート

管の中を気体が通って音が出る。エキゾーストノートはトランペットなどの楽器に相通じる世界でもある。SRV250はこのようなレベルからもエキゾーストノートの音質を追求。エキゾーストパイプ管長やマフラー出口付近の形状を研究し、太く歯切れの良いエキゾーストノートを実現した。アイドリング時は一発一発の爆ぜる音が心地良く響き、エンジンブレーキをかければ、吸気音と重なり快音となる。そのサウンドはライダーを昂揚させずにはおかないだろう。

ペイントワーク……フューエルタンク&フレーム塗装

SRV250の高い質感は職人的なペイントワークに支えられている。特にフレームに関しては、ペイント前に、まず熔接工程で飛散し付着するスパッタを除去。この前処理を行なったうえで、接合部などの凹凸面にも均一の厚さで塗料がのるよう入念な電着＋静電塗装が施されている。フューエルタンクは、美しい色見を湛えるカクテル色にペイントされ、そこにピンストライプと音叉マークの立体エンブレムを与えた。また、前後フェンダー、フットレストブラケット、サイドカバーもボディー同一色にペイントされている。

ディテール……操作系パーツ

メーターは、アンバー色のメーター照明が美しい大型タイプ。メーター下には集中インジケーターも装備される。ランプ類は、60/55Wハロゲンバルブの大型ヘッドランプ、スリムな車体に合わせた別体タイプのテールランプ、そしてハザードランプも採用。シートはバキュームフォームを用いた防水シート。そこにクロームメッキのグラブレールを巻き、シートエンドにはYAMAHAの立体エンブレムをあしらった。また、右サイドカバー下にはキー付きのツールボックスが設けられている。



TRADITIONAL V-TWIN

SRV250

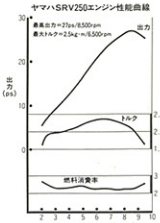
SRV250

メーカー希望小売価格　¥449,000（北海道・沖縄および一部離島を除く）●価格は参考価格です。●価格には保険料、税金（含む消費税）、登録などに伴う費用等は含まれていません。●消費税は別途計算の うえ申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。●メーカーオプションで速度警告灯装着仕様車（¥10,000高）もあります。

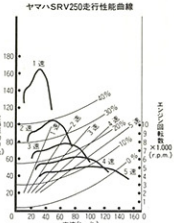
SRV250仕様諸元

型式	4DN
全長／全幅／全高	2,095㎜／720㎜／1,055㎜
軸間距離	1,390㎜
シート高／最低地上高	760㎜／140㎜
乾燥重量	144kg
燃費・定地走行テスト値	56.0km／ℓ（50km／h）
最小回転半径	2.7m
制動停止距離	14.0m（50km／h）
エンジン種類	4サイクル・空冷・OHC・2バルブ
気筒数配列／総排気量	V型2気筒・248cc
内径×行程	49.0㎜×66.0㎜
圧縮比	9.8：1
最高出力	27ps／8,500rpm
最大トルク	2.5kg-m／6,500rpm
点火方式	トランジスタ式
始動方式	セル式
燃料タンク容量	13ℓ
エンジンオイル容量	2.0ℓ
潤滑方式	強制圧送ウエットサンプ
1次減速機構／減速比	ギア／3.130（72／23）
2次減速機構／減速比	チェーン／3.000（45／15）
クラッチ形式	湿式多板コイルスプリング
変速機形式	リターン式5段
変速比	2.642／1.684／1.260／1.000／0.821
フレーム形式	ダブルクレードル
キャスター／トレール	24°25'／95㎜
タイヤサイズ　前・後	90／90-18 51S・110／90-18 61S
制動装置　前・後	油圧式シングルディスク・ドラム（リーディング・トレーリング）

ヤマハSRV250エンジン性能曲線



ヤマハSRV250走行性能曲線



●燃費は定められた試験条件のもとでの値です。従って走行時の気象・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容が一部実車と異なる場合があります。●ボディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。

ダークシアンメタリック2



エンプレスマルーン



ダークパープリッシュブルーメタリック2





メインスタンドはオプション
メーカー希望小売価格（税別）：¥7,900
パーツナンバー：4DN-W0794-00

Y.E.S.S. バイクライフを大きく広げる Y.E.S.S.に、参加しませんか。

●Y.E.S.S.（イエス）とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの略。バイクを核にした幅広い楽しみを提供する、まったく新しいクラブです。●特典もいろいろ。入会のお申し込み、お問い合わせは、Y.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店、または下記のフリーダイヤルへどうぞ。

ON-ROAD YRS INFORMATION SHOP ヤマハライディングスクールに参加しませんか。

国際A級ライダーやヤマハのインストラクターが、理論と実践の両面からライディングテクニックを伝授。クローズドコースでのサーキットランが、日常の走りを大きく飛躍させます。お問い合わせ、お申し込みは、このマークのヤマハ販売店へ。

●商品及び上記に関する情報はY.E.S.S.ホットラインへどうぞ。
0120-319-819

お客様相談室

このカタログに関するお問い合わせは、お近くのヤマハ販売店または下記のお客様相談室へ。

●静岡（本社）……TEL.（0538）32-1166
●東京……TEL.（03）3348-1166
●大阪……TEL.（06）437-1166

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

●ヘルメットを正しくかぶりましょう。●点検・整備を忘れずに。●安全のため改造はやめましょう。●安全速度で走りましょう。無理な追越しはやめましょう。
●昼間のライト・オンはかならずロー・ビームで。●競技用に改造した車両での公道走行はできません。●YRSで正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

見る・見られる・いい運転。
●バイクは昼間もライト・オン！
●カーブ・交差点では、スローイングダウン！

バイクゆとりびと
二輪余裕人

YUTORI 人とバイクの友好生活

●このカタログは再生紙を使用しています。

1992年4月現在

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新貝2500
9203-60D1Ⓐ-018135